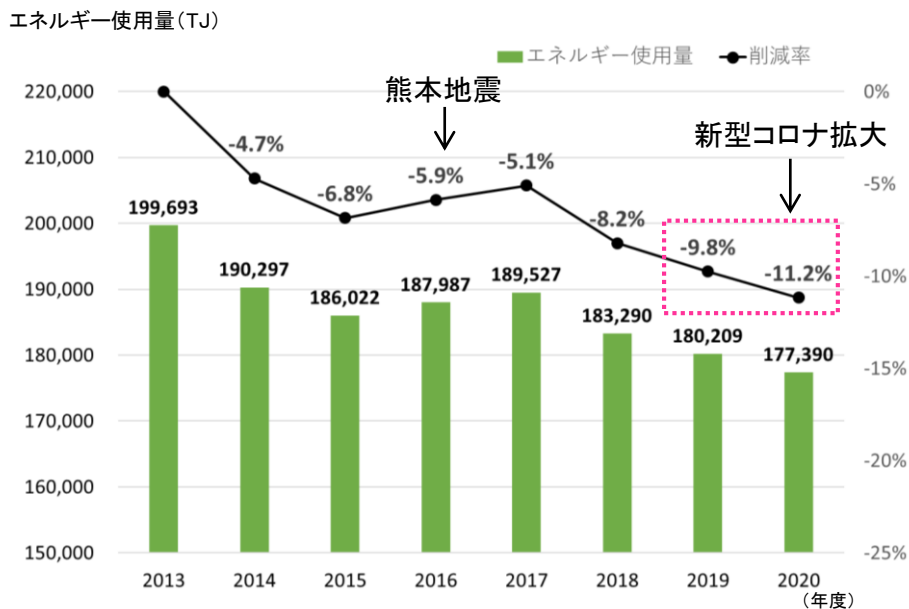


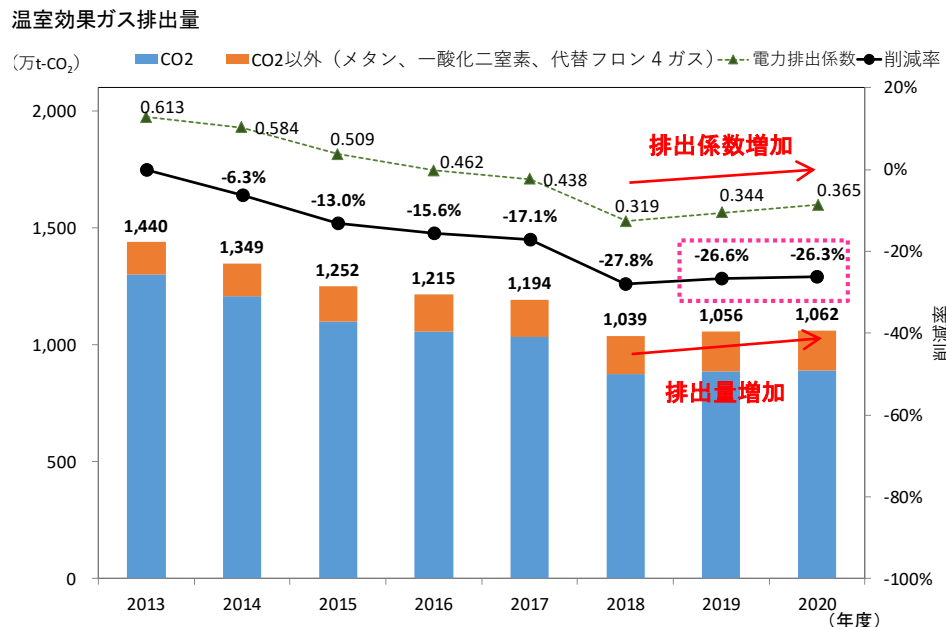
2020年度の本県の温室効果ガス排出量について

- 2020年度の県全体のエネルギー使用量は、新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛や社会経済活動の低迷等により、2013年度以降最少。
- 2020年度の温室効果ガス排出量は1,062万t-CO₂で、2013年度比△26.3%。
- 2013年度から2018年度までは、エネルギー使用量及び電力会社の発電時のCO₂排出割合（排出係数）がともに減少し、温室効果ガス排出量も着実に減少。
→一方、2019・2020年度は排出係数が増加し、温室効果ガス排出量も前年度比で増加。

県全体のエネルギー使用量の推移

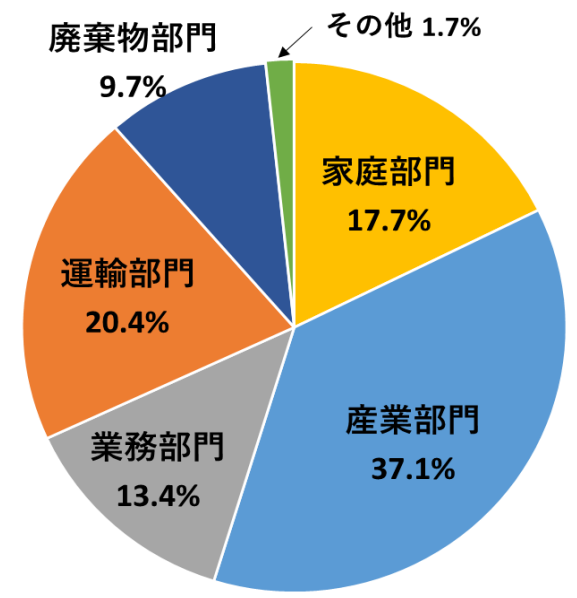
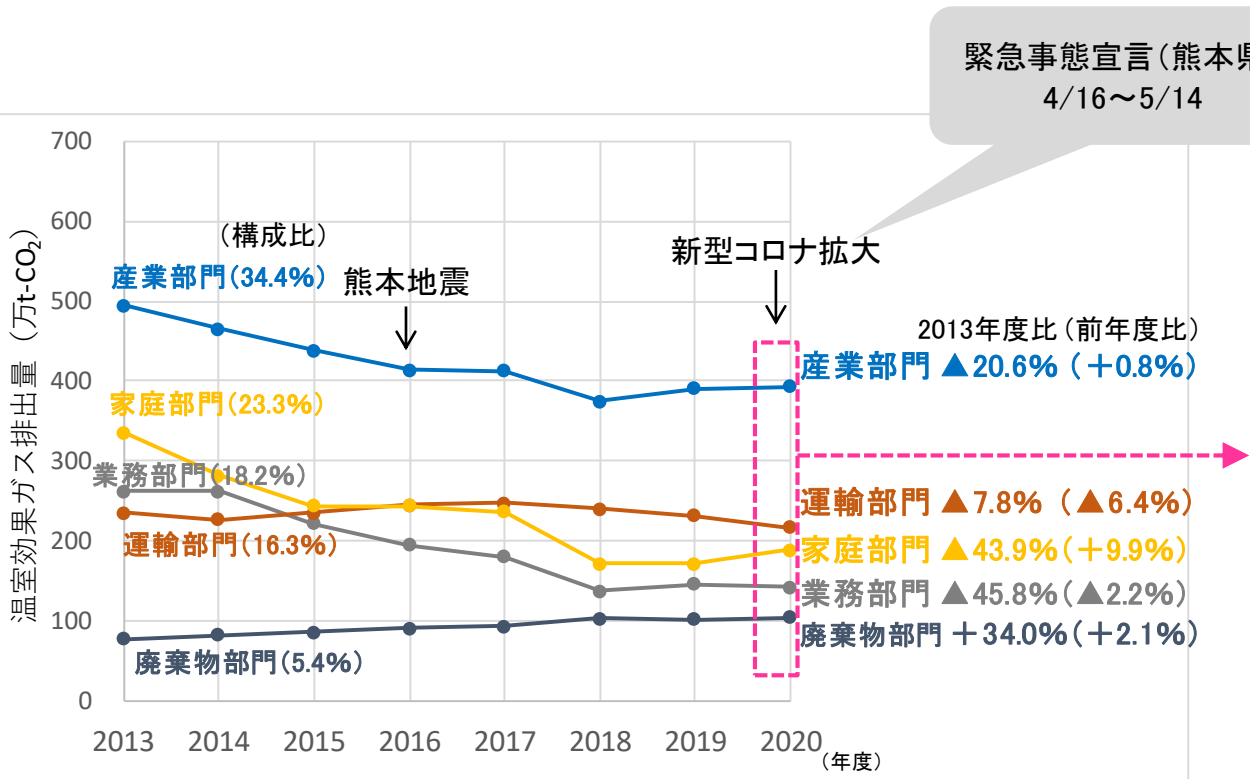


県全体の温室効果ガス排出量の推移



本県の部門別の温室効果ガス排出量

- 業務、家庭、産業、運輸の順に2013年度に比べ排出削減は進んでいるが、廃棄物部門は増加。
- 新型コロナウイルスの感染拡大等により、在宅時間が伸び、特に家庭でのエネルギー使用等が増え、家庭部門の排出量は前年度（2019年度）に比べ9.9%増加。



温室効果ガス排出量の内訳(部門別、2020年度)